

干ばつ被害は日々拡大 国、県、市は継続した実態調査と対策を

共産党議員団は現地調査を続け、藤野前衆院議員、平比例予定候補らも合流



激しく地割れしている田(大島区)



枯死状態の稲を視察(大島区)



完全に干上がっているため池(三和区)



藤野、平、馬場の各氏とともに(牧区)

14日には市に対し対策を要請

水を雨などに頼っている天水田を多く抱えている中山間地では、先月からの異常高温などで水不足が続く、ところによっては稲が壊滅状態になっていきます。

市では緊急に給水ポンプの費用などの助成を始めましたが、「ポンプがあっても、そもそも引いてくる水がない」という地域もあり、こうした地域では今年の収穫は絶望的になっている状況です。

この被害は、異常高温が続いていることから日々深刻さが増してきており、継続した調査と抜本的対策が必要で

す。深いひび割れが生じている田や棚田では、早急にひび割れを修復しないと、今後水が入ることによって畦畔(あぜ)が崩壊する恐れがあり、来年の耕作もできなくなる可能性すらあります。

日本共産党議員団は、7日から現地調査を始め、11日

には馬場ひでゆき県議とともに吉川区と大島区を、21日には藤野やすふみ前衆院議員、平あや子比例予定候補、馬場県議とともに牧区と浦川原区を現地調査しました。それぞれ

の地域で、地元の農業者から詳しく被害実態を聞き取り、「三等米との評価になると価格が3分の1以下になる。このことは耕作意欲を大きくそぐことになる」「収穫できないことで農業から撤退する農家も出てきている」などの切実な声を聞きました。

そして、14日には緊急要望事項をまとめ、中川市長宛に要請書を提出しました。

これらのことは、16日の中川市長の現地調査にも結びつき、農家へのいっそうの支援への期待となっています。

藤野氏らには、「早急に実態調査を行うこと、実態を踏まえた農家への支援を行うこと」を国に要請するよう依頼しました。

日本共産党議員団と馬場県議が14日に中川市長に対して行った干ばつ対策の要請の内容は次の通りです。

異常高温による農作物等被害対策についての要請(抄)

7月21日の梅雨明け以降、市内ではまとまった雨が降らず、異常高温による農作物などの被害が発生しています。それも、休むことなく続いていることから拡大する一方です。

市は消雪用井戸の開放やかん水用機械の借り上げ、購入支援などの対策に乗り出しましたが、一方でこの支援策だけでは救済できない農家なども広く存在しています。

私たちが行った各地の調査を踏まえ、次の点を要請します。

1. 被害状況をしっかりと把握するために、農家からの報告を

基本としつつも、行政として積極的に調査に入ること。

2. 市の支援策(10日発表)で救済できない農家などに対しては、一定の見舞金支給などを検討すること。

3. 数年前の干ばつ被害など過去の被害と比べるなかで、同じ場所での被害が出ているならば、抜本的対策を研究し、対策をとること。



14日、市長宛の要請書を空周一農林水産部長に手渡す馬場県議と議員団

大幅に増え
ピークアウトか

上越保健所管内
新型コロナウイルス感染症
感染者定点報告数

8月7日～8月13日 25.25 (県15.70)

7月31日～8月6日 35.38 (県18.52)

7月24日～7月30日 25.25 (県18.51)

日本共産党上越市議員団ニューズ

No.801 2023年8月27日

連絡先 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)

上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)

先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))